

道 徳		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		<p>生きて働く道徳性を育成するために、学習の手順を4ステップで示すなど、道徳科における資質・能力の育成に向けた学習を進めることができるよう工夫されている。</p> <p>授業の流れや、児童の思考の過程が重視され、多様な指導方法に適した配慮がされている。</p> <p>オリンピック・パラリンピックなど心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に関連した教材はやや少ない。</p> <p>自らを振り返って成長を実感することができるような記述が少なく、指導の際に配慮が必要である。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 生きて働く道徳性を育成するために、2年生から6年生において学習の手順を4ステップ（1気づく 2考え話し合う 3ふりかえる、見つめる 4生かす）で示し、道徳科における資質・能力の育成に向けた学習を進めることができるよう工夫されている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 授業の流れや、児童の思考の過程が重視され、多様な指導方法に適した配慮がされている。③
	3 外的要素	○ ユニバーサル デザインに対応し、文字は太めの教科書体、囲みやイラスト、配色等配慮がなされている。言葉のまとまりをとらえやすくするために、改行の位置にも工夫が見られる。AB版で、行間が広く読みやすい工夫がされている。④
	4 構成・配列	○ 年度当初のオリエンテーションページと、まとまりごとに自分を見つめる「学習の振り返り」ページがあり、見通しを持った学習で主体的な学びを実現できる工夫がされている。②
	5 資料・その他	○ 「学習の振り返り」では、「夏休み」「冬休み」「春休み」の前に大きくりの振り返りができるようになっている。また、道徳教育全体にも対応できる「なりたい自分」「学年の終わりに1年間をまとめて見つめ直すコーナー」がある。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に関連した教材が少ない。②
	2 内容の取扱い	○ 自らを振り返って成長を実感することができるような記述の工夫が少なく、指導に配慮を要する。⑤
	3 外的要素	○ 挿絵に、教材内容から児童がイメージしにくいものがある。③
	4 構成・配列	○ 学んだことでこれからの思いや課題について考えることに配慮を要する。②
	5 資料・その他	○ 児童の発達の段階や特性等を踏まえた資料という点では、配慮を要する。②

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第1地区）

道 徳		学図（学校図書株式会社）
総 評		<p>共生・共助の精神を育む教材が掲載され、相手の立場に立って互いに尊重し合う心と態度を養う教材が取りあげられている。</p> <p>自らを振り返り、見つめ直す発問「みつめよう」を通して、道徳的価値に迫り、今後に生かす態度を養うことができる。</p> <p>分冊の利点が少なく、授業の時間内に悩みや葛藤等の心の揺れを児童が深く考えるためには、指導者の配慮が必要である。</p> <p>内容項目の全体の効果的な指導が行えるよう、各学年で教材が構成・配列されているが、6年間を見通しての構成・配列については指導する際に配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 多様な人々への理解を深め、共生・共助の精神を育む教材が掲載され、相手の立場に立って互いに尊重し合う心と態度を養う教材が取りあげられている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 自らを振り返り、見つめ直す発問「みつめよう」を通して、道徳的価値に迫り、今後に生かす態度を養うことができる⑤ ○ 問題解決的な学習、体験的な学習など、様々な学習活動を通して、児童が自ら考え、対話を通して考えを深められるように工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインの観点から 全ページ、配色とデザインに十分な配慮がされている。文字の配置が統一されていて分かりやすい。④
	4 構成・配列	○ 自らを振り返り、見つめ直す発問「みつめよう」を通して、道徳的価値に迫り、今後に生かす態度を養うことができる。②
	5 資料・その他	○ 全学年「読みもの」「活動」には「コラム」が掲載され、各内容項目の指導の一助となっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童が生き方について考えを深めるためには、発達段階に合わせた指導の工夫が必要な教材がある。⑦
	2 内容の取扱い	○ 悩みや葛藤等の心の揺れを児童が深く考えるためには、指導者の配慮が必要である。②
	3 外的要素	○ 低学年では、教科書を「まなび」「きづき」の2冊に分かれているが、分冊の利点が少ない。①
	4 構成・配列	○ 内容項目の全体の効果的な指導が行えるよう、各学年で教材が構成・配列されているが、6年間を見通しての構成・配列については配慮を要する。①
	5 資料・その他	○ 児童が興味を持ち、学習意欲を引き出す資料という点では、配慮を要する。②

道 徳		教出（教育出版株式会社）
総 評		<p>全学年にわたって、「やってみよう」モラルスキルトレーニングのページが配置されており、いじめの防止などについて考え、議論する工夫がされている。</p> <p>内容項目ごとに、学習のねらいを明確に把握させることで、問題解決的学習を展開できるようにしている。</p> <p>分量が多く読み取りに時間がかかってしまい、多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるためには配慮を要する。</p> <p>文字の大きさが異なるものや、左ページ始まりの教材があり、支援の必要な児童にとって集中して学習しにくい要素がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 全学年にわたって、「やってみよう」モラルスキルトレーニングのページが配置されており、いじめの防止などについて考え、議論する工夫がされている。③
	2 内容の取扱い	○ 内容項目ごとに、学習のねらいを明確に把握させることで、問題解決的学習を展開できるようにしている。⑥
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインによる紙面構成がされ、全ての児童が学びやすい工夫がなされている。（レイアウト、配色、デザイン、マーク等）④
	4 構成・配列	○ 各学年、発達段階を踏まえ、4つの視点がバランスよく学べるように教材が配列されている。①
	5 資料・その他	○ 実践例などが多数掲載され、さらに追加して指導できるよう補充教材も掲載されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実について配慮を要する。⑤
	2 内容の取扱い	○ 多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるためには配慮を要する。①
	3 外的要素	○ 分量が多く読み取りに時間がかかってしまい、道徳的な価値について話し合う時間の確保に配慮を要する教材がある。② ○ 文字の大きさが異なるものや、左ページ始まりの教材があり、支援の必要な児童にとって集中して学習しにくい要素がある。④
	4 構成・配列	○ 学んだことに対して、これからの課題について考える児童へのアプローチに配慮を要する。②
	5 資料・その他	○ 資料は児童が興味を持てるように身近な動物を取り上げるなど児童の視点に立って工夫されているが、もう少し児童の発達段階に合わせた指導の工夫が必要である。②

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第1地区）

道 徳		光村（光村図書出版株式会社）
総 評		<p>「道徳の時間は」のページでは、道徳の授業では、主体的に考え、話し合うことが大切であることを児童に示しているほか、漫画形式や一枚絵の教材、複数の資料と併せて考えられる教材を配しており、考える道徳・議論する道徳の具現化に効果的である。</p> <p>発達段階に即し、ねらいを達成する上で、内容や分量、世界の広がりが見られる。一部の教材に、児童の「ふりかえり」を深めるための工夫が十分ではないものがある。</p> <p>さし絵や写真など、児童の教材理解を助けるように随所に配されているが、授業での活用については配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的に考え、話し合うことが道徳の授業であることを児童に示す「道徳の時間は」を設け、他にも漫画形式の教材、一枚絵から考える教材、複数の資料と併せて考えられる教材を配しており、考える道徳・議論する道徳の具現化に効果的な役割をしている。③
	2 内容の取扱い	○ 発達段階に即し、ねらいを達成する上で、内容や分量、世界の広がりが見られる。また学年ごとに重点項目を変え、確かな学習体験となるよう配慮されている。③
	3 外的要素	○ 文字の大きさや配置、写真や挿絵の色遣いや配置の他、枠組みを使ったデザイン処理などユニバーサルデザインの観点から見ても十分な配慮がなされている。④
	4 構成・配列	○ 「学習のまとめり」ごとに、自分や他者の考えや行動を振り返り、変化や成長を記録できる「学びの記録」が位置付けられており、道徳性を育成するための工夫が見られる。②
	5 資料・その他	○ 「学びの記録」の位置付けにより、児童が自己評価できるようになっていたり、教材と関連した本（話）を紹介していたりして、学習意欲を喚起する工夫が見られる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に配慮されている教材が少ない。②
	2 内容の取扱い	○ 一部の教材に、児童の「ふりかえり」を深めるための工夫が十分ではない。⑤
	3 外的要素	○ さし絵や写真など、児童の教材理解を助けるように随所に配されているが、授業での活用については配慮を要する。③
	4 構成・配列	○ 「学びの記録」において内容項目の焦点化がされにくい内容なので、教材にそった学びができたか、振り返った時に分かりにくい。②
	5 資料・その他	○ 資料は、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すように工夫されているが、簡潔さに課題がある。②

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第1地区）

道 徳		日 文（日本文教出版株式会社）
総 評		<p>「学習の手引き」が設定された教材では、考え、議論する道徳の進め方が写真や絵でわかりやすく明示されており、それぞれの学習過程の中で、自分の考えを深めたり、友達と話し合ったり、人にわかりやすく発表したりする学習活動が適切に示唆されている。</p> <p>各教材末に自己を振り返る発問「考えてみよう」があり、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて置かれている。</p> <p>標準教材に加え、付録としての補助教材を取り入れ、ものの見方や考え方が深められるように工夫している。</p> <p>本の大きさが横に長く、机上が本でいっぱいになるので、児童が授業に集中できるよう配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「学習の手引き」が設定された教材では、考え、議論する道徳の進め方が写真や絵でわかりやすく明示されており、それぞれの授業過程の中で、自分の考えを深めたり、友達と話し合ったり、人にわかりやすく発表したりする学習活動が適切に示唆されている。③
	2 内容の取扱い	○ 各教材末に自己を振り返る発問「考えてみよう」が設けられ、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて置かれている。⑤
	3 外的要素	○ 漢字は、当該学年以上の漢字やキーワード・固有名詞等の漢字にはすべてにふりがなをつけ、読みの抵抗を少なくするよう配慮している。④
	4 構成・配列	○ 児童の発達段階を考慮した内容であり、1年間、及び6年間を通した系統性を配慮しているとともに、「保・幼・小」の連携、中学校段階との接続にも配慮している。①
	5 資料・その他	○ 標準教材に加え、付録としての補助教材を取り入れ、ものの見方や考え方が深められるように工夫している。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教材に工夫が必要である。③
	2 内容の取扱い	○ 一部の教材に、児童が振り返って成長を実感する過程に配慮が必要なものがある。⑤
	3 外的要素	○ 本の大きさが横に長く、机上が本でいっぱいになるので、児童が授業に集中できるよう配慮を要する。① ○ 挿絵が現代的で、教材内容の時代と比べてやや違和感がある。③
	4 構成・配列	○ 頭注欄を活用していたが、当該学年の児童には、やや難解な語句があり、児童にとって取り組みにくい。④
	5 資料・その他	○ 資料等、別冊に表記されているので、低学年児童には少し活用しづらい。②

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第1地区）

道 徳		光文（株式会社光文書院）
総 評		<p>各教材の冒頭に主題と導入時の問いを提示し、1時間の授業の流れを明確にしている。</p> <p>展開時には、主題に迫る問いや大切な見方を示し、「まとめる・広げる」では授業後の広がりまで視野に入れている。</p> <p>日本・世界の偉人やオリンピック選手などの功労者を取り上げ、生き方に触れる時間を通し、自らの考え方や生き方を振り返り、目標を見つけることができるような工夫がある。</p> <p>A4版で教科書が大きいので低学年にはとても見やすいが、高学年にとっては挿絵が多く、児童の発達段階に合っていない。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 各教材の冒頭に主題と導入時の問いを提示し、1時間の授業の流れを明確にしている。展開時には、主題に迫る問いや大切な見方を示し、「まとめる・広げる」では授業後の広がりまで視野に入れている。④
	2 内容の取扱い	○ 日本・世界の偉人やオリンピック選手などの功労者を取り上げ、生き方に触れる時間を通し、自らの考え方や生き方を振り返り、目標を見つけることができるような工夫がある。⑤
	3 外的要素	○ 2年生までは分かち書きであり、3年生までは、全ての漢字にふりがなを付している。④
	4 構成・配列	○ 「生命の尊重」を6年間通した重点主題とし、「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」を取り入れている。①
	5 資料・その他	○ 「ことばのたからもの」というページを設け、児童に触れて欲しい世界の偉人や歴史上の人物の名言が発達段階を考慮して紹介されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 一部の教材に、児童の主體的・対話的で深い学びをより深化させるために、工夫が必要なものがある。
	2 内容の取扱い	○ 道徳的行為に関する体験的な学習等に関する教材がやや少ない。⑥
	3 外的要素	○ A4版で教科書が大きいので低学年にはとても見やすいが、高学年にとっては挿絵が多く、児童の発達段階に合っていない。②
	4 構成・配列	○ 学んだ教材をさらに深く心にとどめるための工夫がされているが、一部、児童の発達段階に適していないのではないかと思われるものがあった。②
	5 資料・その他	○ 資料は学習内容に応じて正確・適切に用意されているが、少し量が多い。①

道 徳		学研（株式会社学研教育みらい）
総 評		<p>巻頭の「道徳の学習が始まるよ」で、発達段階を考慮しながら、考えたり話し合ったりする学習の流れが示されている。</p> <p>教材によって学び方のページを設定し、発展的な活動やその教材に関する資料を載せている。</p> <p>教科書が大判なため、低学年児童には持ち運び時に配慮を要する。</p> <p>児童の考えの深まりが進むように教材内容が工夫されているが、一部の教材に課題意識を深める観点に工夫が必要なものがあつた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭の「道徳の学習が始まるよ」で、発達段階を考慮しながら、考えたり話し合ったりする学習の流れが示されている。④
	2 内容の取扱い	○ 教材によって学び方のページ（「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」）を設定し、発展的な活動やその教材に関する資料を載せている。特に、「やってみよう」では学習したことを実践する体験的な学習活動を取り入れている。⑥
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインに配慮した文字やカラーにしている。④
	4 構成・配列	○ 最重要テーマを受け、1・2年生は「しっかり生きる」、3・4年生は「仲よく生きる」、5・6年生は「よりよく生きる」を重点テーマとして設定し、それに関わる2教材を連続して配置している。①
	5 資料・その他	○ A4判にし、挿絵や写真を大きく豊富に載せられるようにしている。また、巻頭は見開き一面、いのちの教育に関わる教材の始めには一面の写真が詩とともに載っている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現に配慮されている教材が、やや少ない。①
	2 内容の取扱い	○ 児童の考えの深まりが進むように教材内容が工夫されているが、一部の教材に課題意識を深める観点に工夫が必要だと思われるものがあつた。⑤
	3 外的要素	○ 教科書が大判なため、低学年児童には持ち運び時に配慮を要する。①
	4 構成・配列	○ 学んだことについて、児童にこれからの課題をより深く考えさせる工夫が、必要なものがあつた。②
	5 資料・その他	○ 資料等は、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すように様々な形式で掲示されているが、資料等が目立ちすぎて教材内容の深化が少し進みづらいところもある。②

道 徳		廣あかつき（廣濟堂あかつき株式会社）
総 評		<p>全学年に教材ごとに、「考えよう、話し合おう」を設置して学習の道筋を示し児童の主体的、対話的で深い学びを促し、学習を広げる工夫をしている。</p> <p>各教材に「考えよう、話し合おう」を設け、「問題解決的な学習」と「自己を振り返り将来に生かす学習」の発問で、児童が思考を深められるような工夫をしている。</p> <p>低学年では、教科書・「道徳ノート」の2冊に分けているため、使い方について配慮を要する。</p> <p>身近な社会的課題を題材とする教材がやや少ない。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 全学年に教材ごとに、「考えよう、話し合おう」を設置して学習の道筋を示し児童の主体的、対話的で深い学びを促し、学習を広げる工夫をしている。③
	2 内容の取扱い	○ 各教材に「考えよう、話し合おう」を設け、「問題解決的な学習」と「自己を振り返り将来に生かす学習」の発問で、児童が思考を深められるような工夫をしている。①
	3 外的要素	○ 低学年の教材は、動物を登場人物とした物語教材を多くとりあげ、挿絵を積極的に掲載することで、視覚的に内容理解を促している。③
	4 構成・配列	○ 「道徳ノート」では、授業で感じたことや考えたことを記述する欄があり、振り返ることで、児童が自分の成長を感じたり次の課題や目標を見つけたり意識したりすることができるようになっている。②
	5 資料・その他	○ 「学習を広げる」では、教材に出てきた人物の紹介や関連した本が適切に紹介されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための体力の向上に配慮されている教材が、やや少ない。②
	2 内容の取扱い	○ 身近な社会的課題を題材とする教材が、やや少ない。④
	3 外的要素	○ 低学年では、教科書・「道徳ノート」の2冊に分けているため、使い方について配慮を要する。①
	4 構成・配列	○ 読みものの終わりの「学習の道すじ」では、児童に考えさせる項目が多い。②
	5 資料・その他	○ 「道徳ノート」が一つの教材につき1ページではなく、同じ内容項目で2ページになっているのが児童には使いにくい。②